

1 NHK のこどもニュースのキャスターをしていた池上彰さんの文章です。

経済とかお金の流れといった、子どもにとってとっつきにくいテーマをわかりやすく説明した本です。

問一 分業についての言い換え箇所を探す問題です。

L16 に「これが分業であり、交換です。」とあるので、「これ」がさす部分は L14 から L15 の一文です。そこで問いの指示通り十四字に当てはまるものを探すと、「互いに自分の得意な分野の仕事」をするの部分が答えになります。

問二 L21～22 にあるように、人間は「分業して出来たものを交換することで、私たちはゆとりがある暮らしができています」ことが書かれています。この部分をまとめればよいでしょう。なお、記述問題については指定字数の八割以上書く必要があります。また、理由を聞かれているので、「・・・から。」「・・・ので。」のように、文末にも気をつけてください。

問三 大昔の物々交換の大変さについては L28～L34 をご覧下さい。互いに持っているものを交換したいと思う者同士が出会う偶然は考えられないことが書かれています。

問四 お金の誕生から金貨・銀貨の誕生までの過程を読み取って、まとめる問題です。

お金は、L42～43 にあるように「みんながほしがり、長持ちするもの」として交換の仲立ちとして誕生しました。

最初は貝が多く用いられましたが、L54～56 にあるように落としても壊れず、腐ることもなく、加工も簡単なので、金属が使われるようになったと書かれています。

この二点を盛り込んで答えればよいでしょう。

問五 預かり証の説明としてふさわしくないものを選ぶ問題です。選択肢エは金属のお金についての説明ですので、これが答えになります。

なお、預かり証が生まれるきっかけは L68～73 に説明されていて、選択肢ア～ウと合致します。

問六 《市にいけば、物々交換したいと思っている人たちに会えます。》の一文を入れる問題です。

「市」について書かれているのは、L35～36 の箇所のみです。脱文は「市」の起源についての説明の後に続く内容ですので、36 行目の「これが市の始まりです。」の後に入れることになります。

問七 漢字の書き取りと[2]の語句問題は例年出題されています。

とめはねに気をつけ、しっかりと楷書で書いてください。

問八

ア 「非常時には物の方が貴重なので交換できない」とは本文には書かれていないので、該当しません。

イ 「お金に関する漢字には、貝や金が使われている。」とありますが、本文では「金」が使われているとは書かれていません。

ウ 本文 L 1 ~ 3 の部分が合致しますので、これが正解になります。

エ 「自分で獲ったり、作ることが豊かである」とは本文では言っていません。

以上のことから、ウが正解になります。

[2]

物語文の解説に入ります。少年と大好きな小父さんとのやりとりが書かれた文章です。

問一 時間と場面の变化を読み取る問題です。

L 1 1 から L 4 1 は小父さんのところに行くことになった経緯や、引っ越す前の小父さんについての回想場面です。小父さんの家を訪ねた場面へと戻るのは、L 4 2 の「土間を出る」の部分になります。

問二 「少年」の目を通した小父さんの性格をとらえる問いです。すると、L 2 9 ~ 30 をごらんください。「小父さんはよく気がついて、他人にも親切だけれど、お父さんには決して出来ないような思い切ったことをする人かもしれない。」とありますので、ここが答えになります。

問三 傍線部(3)に「ほとんど反射的に」とありますので、迷うことなく、すぐにも小父さんに会いたい気持ちであることが分かります。理由としては、

- ・ 大好きな小父さんにしばらく会っていない。
- ・ 良くない噂を聞き、心配していた。

の二点があげられます。この部分をまとめればよいでしょう。また、字数や文末につ

いて気をつけるという点は物語文でも同様です。

問四 四字熟語やことわざといった語句問題は例年出題されています。

問五 風景描写に反映された登場人物の状況を読み取る問いです。

「肥った猫」が「ゆっくり」歩いている描写はのどかな漁村を表していますが、その景色が美しく穏やかであればあるほど、「小父さんと小母さん」の身の上の深刻さが際立つ効果をもたらしています。ですから、ウが答えになります。

問六 小父さんが経済的に困窮している箇所を探す問題です。

まず、小父さんはL 4 4に大きな屋敷の母屋に属している建物の一つで物置のような所に住んでいることがわかります。そして、その中はL 3 5「子どもがいないからといって窮屈な畳も敷いてないところ」であることが書かれています。この二点をまとめてください。

問七 少年は大好きな小父さんに会えてとてもうれしいのですが、小父さんの方はどうも心ここにあらずの様子で二人の気持ちは通いあっていません。そこで少年は遠くの人のように感じさびしく思っている場面です。

L 9 5に「僕に話しかけているのに、僕ではない誰かに話しかけている」ような態度とありますので、ここが答えになります。

問八 ア「精神の強さに驚くとともに小父さんの明るい未来を感じた」とありますが、小父さんが自分自身と約束しているような姿を見て、少年はさびしいと思っていますので、該当しません。

イ L 1 0 0に困っているのに、そんなことは一切口にしないとあるので、前半部分は当てはまりません。また、小父さんの心は少年の方ではなく、海や島、そしてはるか彼方の将来に向いていたのでさびしいことがL 1 1 7から後の部分に書かれていますので、イが正解になります。

ウ 父が小父さんに会わせようとした本当の目的は、「父が少年のことを誇りにしていることを知らせるためではありませんので、ウは該当しません。

エ 「自分にとって人生とは何かという問題が現実的意味を持つようになった」ことは本文に書かれていません。ですから、エも該当しません。

以上のことからイが答えになります。